



みなとしんぶん アンケート特集号

発行
5年2組
アンケート員 1人会

この前のアンケートがまとまったので報告します。答えの多い順にならべました。

Q1

大阪港を勉強して、おどろいたことや感心したことを二つ書いてください。



①害虫が入るのを防ぐために、バナナが緑色で輸入されていること。ムロで黄色に変身しておいしくなること。バナナベルト地帯っておもしろい言い方だな。

②大阪市を高潮や津波から守るために、こんなにたくさんの方潮扉や水門があるとは知らなかった。

③大阪港では、船の仕事のほかに多くの仕事があった。みんなのためにたくさんの方が働いている。はじめて知った仕事がたくさんあった。

④コンテナの大きさが世界中でこの国でも同じで、一番大きな船では1隻に19,000個も積めること。

⑤大阪港の輸出も輸入も中国がものすごく多いこと。家で調べたら、中国製の服やはぎものや電気器具がたくさんあった。



⑥人も貨物も自動車もいっしょに積めるフェリーって便利だな。乗ってみたい。近くのスーパーマーケットで売っている野菜もフェリーで来たのかな。

⑦大阪港が、1400年も前から海の玄関口として外国との行き来があったこと。遣隋使の小野妹子は女の人と思っていたが、男であったこと。

⑧4年で淀川を勉強したとき、デ・レーケさんの名前が出てきたが、大阪港でも活躍した。明治のころは、外国人に教えてもらうことが多かったのかな。

⑨1個の長さが100mもある鉄の箱を海の底でつないで夢咲トンネルにするそう。むずかしい工事だろうな。

⑩大阪港は、人の交流や貨物を送り出したり、受け入れたりすることで、日本国内や外国とも結ばれている。

Q2

わからないことがあると思います。これからどんなことを調べたいですか。

・輸入食品や動物や植物の検査のようすについて。
・みおつくしが、あのようなかたちをしているのはどうしてか。

・自動車や地下鉄が走る沈埋函の大きさを詳しく。工場から大阪港までどのようにして運ぶのか。

・輸入も輸出も中国がいちばん多いのは、どうしてか。

・大昔の難波津のようすについて。
・明治のはじめ、日本に来た外国人について。

